

令和2年第11回加西市教育委員会会議録

- 1 開会日時 令和2年11月20日(金) 14時00分
- 2 閉会日時 同日 14時54分
- 3 開催場所 加西市役所 1F多目的ホール
- 4 出席者 教 育 長 民 輪 惠
委 員 沼 澤 郁 美
委 員 楠 田 初 美
委 員 中 川 和 之
委 員 深 田 英 世

- 5 上記出席者及び傍聴人を除き、会議に出席した者の氏名

教育部長	本 玉 義 人
次長兼教育総務課長	今 西 利 夫
教育委員会次長(文化財担当)	森 幸 三
教育委員会課長(施設担当)	井 上 英 文
学校教育課長	安 富 重 則
こども未来課長	伊 藤 勝
生涯学習課長	松 本 富 美
総合教育センター所長	常 峰 修 一
図書館長	藤 川 貴 博
教育総務課長補佐兼総務係長	松 田 ちあき

地方教育行政組織及び運営に関する法律第14条第3項に定める定足数に達していることを確認し、議事に移る。

- 6 付議事項

議案第40号 令和3年度加西市立加西特別支援学校高等部入学者選考要綱について
議案第41号 令和3年度加西市立小・中・特別支援学校教職員異動方針について

- 7 議題となった動議を提出した者の氏名

なし

8 質問及び討議の内容

議案第 40 号 令和 3 年度加西市立加西特別支援学校高等部入学者選考要綱について

学校教育課長より説明する。加西市立加西特別支援学校学則第 8 条第 2 項の規定により、令和 3 年度加西市立加西特別支援学校高等部入学者選考要綱について、別紙のとおり定めたく委員会の議決を求める。

内容を説明する。今年度、日程以外に大きな変更はない。特別支援学校高等部の入学者選考については、要綱記載のとおり、2 の基本方針「本科における志願者取扱要領並びに本科における入学者選考要領」に基づき実施をしたいと考えている。選考方法は調査書による書類審査、面接、適性検査。なお、定員割れの場合、再募集を行う。

今後の日程については、令和 3 年 1 月 18 日から 1 月 22 日の間に入学願書を提出。面接、適性検査は 2 月 15 日（月）予定。

要綱 9 ページの調査書、6 の項目で、3 の(3)「移動」を(4)へ訂正していただきたい。

議案第 41 号 令和 3 年度加西市立小・中・特別支援学校教職員異動方針について

学校教育課長より説明する。議案第 41 号令和 3 年度加西市立小・中・特別支援学校教職員異動方針について別紙のとおり定めたいので、委員会の議決を求める。

兵庫県教育委員会から、令和 2 年 10 月 30 日付文書により、令和 3 年度の公立学校教職員異動方針が打ち出された。その内容は昨年度と大きく変更はないが、令和 3 年度の人事異動の配慮事項として、児童生徒が安心して学べる魅力と活力ある学校づくりを進めること、ハラスメントのない働きがいのある、風通しのよい職場づくりを進めることが示された。従って、加西市も県のこの方針に準じた教職員異動方針を定めていくため、令和 3 年度人事異動に当たり特に配慮すべき事項として内容をつけ加えた。

教職員の異動についての基本方針としては、加西市の実情に即した公平、公正かつ適切な人事異動を行うことにより、斬新にして明朗な機運を醸成し、学校経営の充実を図るとともに、本市学校教育の一層の発展を期することとしている。

異動は原則「現任校 3 年以上在勤した者」とし、休職中、療養中、産前産後休暇中、育児休暇休業中、派遣中の者の異動は行わない。また、市外への転出は、交流希望、その他一身上の都合により転出を希望する者を対象とする。

次に、配置換については、同一校勤務 9 年以上（事務職員、栄養教諭は 5 年以上）の者は、原則として異動を行う。また、3 年以上 9 年未満の者、事務職員、栄養教諭は 3 年以上だが、こちらも必要に応じて異動を行う。教育委員会で議決をいただけたら、教職員の異動に向け準備を進める予定である。

9 議決事項

議案第 40 号 令和 3 年度加西市立加西特別支援学校高等部入学者選考要綱について

原案通り可決

議案第 41 号 令和 3 年度加西市立小中特別支援学校教委職員異動方針について

原案通り可決

10 報告事項

教育長

この一月は私にとって重要な出来事が多々あった。

まず、10月23日に、栄養教諭による食育連絡会議に出席し、現場の思いや問題点を共有させていただいた。率直に申して、加西市 3,000 人の児童生徒の給食を預かる教育委員会に、まずは専任の給食担当を置かなければならない。そして、中川委員から常に提案していただいている公会計化なども含め、地産地消を見据えながら、情報を極力オープンにし、専任がきちんと仕事をすることで、現場と協働する体制を至急構築しなければならないと今痛感している。それに関連して、10月29日に宇仁小学校で給食をいただいた。

11月5日に、来年から稼働する南部給食センターに出向き、現場を見させていただいた。給食センターは今もうほぼ完成した状態だが、現時点でもやはり改善点は見つかり、現場に出向くことの大切さを痛感した。

前後するが、10月24日に、善防中学校の「トライやる・ディ」で、中学2年生の子どもたちを前に、私自身の体験を例に1時間半から2時間弱お話をさせていただいた。内容は、世界には加西市で当然と思っている価値観は全く通用しないような地域がたくさんあるということ。そして、未知のまだ知らない世界を前にし、どうしようかなと迷ったときには、ぜひ挑戦して、自分の物差しを増やして欲しい、可能性を広げて欲しいというお話をしてきた。私にとって子どもたちに直接語りかけることのできる貴重な時間となった。数日後、生徒一人一人からお礼のはがきが届き、大変感激した。

一方、オープンスクール開催が突如判明し、10月30日に、広島県福山市常石小学校を急きょ見学させていただいた。この小学校は全校生八十数人の海辺の学校だが、広島県教委、福山市教委、また校長先生方が一丸となられ、これからの学校のあり方を模索された。その研究成果をもとに、公教育にもかかわらず、イエナプラン教育とい

うドイツ生まれでオランダ育ちの新しい教育システムの導入を決定された。常石小学校は市内全域から入学希望者を募り、3年後には全校生徒を80人から180人にすることを目指している。イエナプラン教育の最大の特徴は異年齢、つまり1年生、2年生、3年生が1つのクラスになり、4年生、5年生、6年生がまた1つのクラスになって学ぶという点にある。長野県にも同じような学校ができています。

今後、常石小学校を初め幾つかの教育現場を教育委員さんたちにもぜひ視察をしていただき、もちろん私自身も視察させていただき、学ぶべきを学んで、前向きにいろんなことを検討したいと考えているので、どうぞよろしくお願い申し上げます。

実は、現在の加西市も、新しい時代の学校のあり方を検討しなければならないという喫緊の命題を抱えているが、少子化というのは加西市のみならず、日本全国で進行している問題である。我々がベストと信じて150年間続けてきたこれまでの日本の教育システムが、少子化という現実によって見直しを迫られている状況だと私は思っている。これは、必ずしも加西市だけの特別な問題だとは思っていない。

教育委員の皆様には一昨日、兵教大の日渡教授との勉強会に出席していただき、遅くまでありがたく思っている。近隣の市町村の様子をうかがいながら、方向性を決めることも大事ではあるが、そういうことだけではなく、よい点を謙虚に学びながらも、むしろ加西市が新しい提案をきちっとしながら、加西市独自の学校教育のベストを追及できないものかと私は考えている。

11月に入り、6日には12月補正予算について財政課のヒアリングがあった。午後から、北条小学校において市指定研究発表会に参加し、特別の教科「道徳の納得解」という研究発表の授業を見せていただいた。11日は閉会中の議会総務委員会があった。13日は泉小学校の市指定研究発表会で、「外国語の学習を通して思いを伝える」という授業を参観させていただいた。15日には、市民会館大ホールで第54回加西市美術公募展、加西市文芸祭の表彰式に出席した。終了後、ラヴィかさいで行われた元文科省の官僚前川喜平さんの講演会にも参加した。

16日にはまち・ひと・しごと創生推進本部会があり、本年度採用の若い市職員の皆さんによる、加西市に人を呼び込む施策という提案のプレゼンテーションを大変興味深く拝聴させていただいた。大変フレッシュな発表をなさっていたと感じた。17日には泉中学校の市指定研究発表会があった。その同日と翌18日の2日にわたり、教育委員会各課から令和3年度当初予算ヒアリングを実施した。

また、11月18日に、先ほど述べた日渡先生の勉強会をさせていただいた。教育が抱えている現代の問題とか、未来の課題という本質を大変わかりやすくレクチャーしていただいたなと思っている。今後、もう少しあの会を開かれたものにして、本日、傍聴されている議員の方々にも、もしよろしければ出ていただき、ぜひお話を聞いていただければいいなと思う。なるべくいろいろなことをオープンにしていきたいと思っているので、どうぞよろしくお願い申し上げます。

昨日 19 日には、善防こども園にお邪魔し、早くから異年齢保育を実践していらっしゃる現場を見せていただいた。午後には代表区長会に出席。

今は、人事や予算など本年度の実績や問題を精査した上で、次期につなげていくべき重要な局面だと思っている。前例主義に陥ることなく、前向きにベストを尽くしてさまざまなことを追求したいと思っているので、皆様のご理解とご協力をくれぐれもよろしくお願いし報告とする。

教育委員からの意見

- ・今教育長もおっしゃられたとおり、18 日に日渡先生の勉強会に参加させていただいた。詳しくは言えないが、本当に自分が考えている学校のあり方について、平成 23 年度のあり方の答申書をベースにという形で思っていたが、先生の話聞いて、全然違うわけではないが、やはりもっともっと考えていかなければいけないというのが身にしみてわかる勉強会だった。今後、おそらく 2 回か 3 回は勉強会があると思うので、ぜひ傍聴されている議員の方々も 1 度聞きに来られたら、考え方が変わるかなと思う。変わるのではなく、こういう学校のあり方もあるのではないかというのが模索できると思うので、ぜひまた勉強会への参加をよろしくお願いしたい。

教育部長

教育委員会事務職員の人事異動について報告する。既に発令済み。11 月 1 日から人事交流として国への派遣を行う関係で、10 月 31 日をもって、こども未来課所属の藏田清楓が市長部局へ出向、退職した。後任として、北条ならの実こども園の保育教諭齋藤すず実が新たに着任をしている。

学校教育課長

小中特別支援学校における学校教育活動の状況について報告する。

まず、かねてよりご心配いただいていた修学旅行について。特別支援学校は、9 月上旬に行ったことは報告済。小学校は、10 月 27 日（火）から 28 日（水）に奈良・京都方面へ全員出席した上で、無事実施することができた。中学校も 4 中とも、無事行くことができた。北条中学校は、11 月 2 日から 3 日間、泉中学校は 11 月 13 日から同じく 3 日間、善防中学校は昨日 11 月 19 日から、最後に、加西中学校は本日無事出発した。よって、定例教育委員会で規則制定していただいたが、キャンセル料は発生せず、無事に行うことができたことを報告する。ご協力に感謝したい。

それから、中学校の合唱祭もそれぞれ 4 中学校が、10 月から 11 月の中旬にかけて規模を縮小しながら行った。入場制限をしながら、保護者へは動画を配信するなどして見ていただけるような工夫をした学校もある。小学校については、賀茂小学校が 10 月

17日に既に終えている。残りの10校のうち6校が明日11月21日に、4校が11月28日に行う予定。こちらも規模を考慮しつつ開催と聞いている。

11月18日の定例教頭会において、感染拡大のレベルが感染拡大期へ引き上げられたことを踏まえ、こうした行事については、兵庫県感染症追跡システムを導入しながら行うようにと申し上げている。本日、また、拡大レベルがさらに上がったので、学校へ注意喚起をしているところである。

あわせて、国の補助あるいは市の予算措置により、保健衛生物品を10月上旬に第3弾として送り、活用を促している。これは机を拭く消毒液であるとか、子どもたちのハンドソープ等である。机等の消毒については、教職員のみ負担とならないよう、子どもたちでも安全に掃除の際に使用できるような物品を購入しており、その購入についても教頭会を通じて進めている。

最後に、冬季休業日は、年度当初の計画どおり12月25日（金）から1月6日（水）の日程で行う。例年よりも1日短縮となる。

学習の状況は先月もお伝えしたが、もう少しで通常の状態に追いつくまで進んでいるところ。おおむね12月末には追いつくと聞いている。履修をご心配いただいているところだが、現場の教員を中心に頑張っており、それをご報告させていただく。

教育委員からの意見と学校教育課長の回答

- ・学校教育活動の報告をいただきありがたく思う。特に小学校と中学校で修学旅行へ無事出発し、もう帰られた学校もあると聞き安堵した。加西中は今日からということだが、行った生徒児童については、帰ってからもある程度の配慮が必要だと思うので、それを十分に踏まえて気をつけていただきたいと思う。一応、修学旅行についてはよかったと思う。感謝を述べたい。

(回答) 修学旅行について、今年度を機会に修学旅行ガイドラインを市で作成した。あわせて、校外活動ガイドラインも作成している。今、委員がおっしゃるように、配慮として、帰って来てから2週間の検温を続ける等を規定しており、実際に行っている。あわせて学校へも再度指導をしていきたい。ありがたく思う。

総合教育センター所長

令和元年度加西市内の小中学校児童生徒の問題行動・不登校の状況について報告をする。

令和元年度の全国の「児童生徒の問題行動・不登校等生徒指導上の諸課題に関する調査」について文部科学省によって集計された結果が10月におりてきたので、それをもとに昨年度分の分析をした。

まず、1点目の暴力行為については、けがの有無、病院の診断書や警察への被害届

の有無にかかわらず、暴力行為に該当するもの全てを対象として集計している。発生件数については、加西市内小学校では昨年度増加しているが、今申したように、けがの有無にかかわらず、ささいなことを見逃さず丁寧に把握して指導した結果、前年度に比べ 17 件増える結果が出ていると思われる。

形態別の構成比については、対教師暴力は小学校において 3.6%発生している。これは非常に重く受けとめられるかもしれないが、子どものパニックを制止しようとした際に、教師に手が当たった等もカウントしているので、このような数字で出ている。全ての暴力行為に該当する事案を見逃さず、それぞれの学校において丁寧に指導した結果、このようになっている。発達段階の子どもに応じた計画的な指導を小学校から行いながら、暴力行為の未然防止を図るために、よりよい人間関係を主体的に形成できるような学校づくりの推進を図っていきたいと考えている。

続いて、いじめについては、「児童生徒が心身の苦痛を感じているものは全ていじめ」という定義で、積極的な認知を行っている。加西市の小学校においてもいじめの認知件数が前年度比 23 件増えているが、これも先ほどと同様にささいないじめも見逃さず、きめ細かくアンケート等も実施しながら、聞き取って見守った結果である。

いじめの態様別構成比については、やはり冷やかしやからかい、悪口が最も多く、次いで、仲間外れとなっている。幸いなことに、前年の令和元年度には重大事態に至ったという事案はなかったが、小さなどんないじめであっても、それが重大事態につながる可能性もはらんでいるので、そうしたところに危機感を持って対応し、予見できるものは予見をして、早期対応ができるような指導をこころがけたい。また、パソコンや携帯電話等の誹謗中傷については、なかなか把握できない現状があるが、いずれにしても教師がアンテナを高く張り、情報が入って来るような相談体制をとりながら、子どもたちが早期のうちから積極的に相談して解決できるような体制を整えていくことが大切だと考える。

解消率については、昨年度解消率が下がっているような数字が出ている。これは発見から指導 3 カ月の経過を見て、解消したと確認されたものとなるので、令和元年度はいじめの認知が 3 学期であった事例等があり、この報告提出の際に 3 カ月が経過していなかったということがあった。それと同時に、いじめの件数分の解消件数という計算になると、分母が少ない中で 1 件でも解消されていない件数が増えると、このパーセントも上がっていくことになってくる。スクールソーシャルワーカー、スクールカウンセラー等も活用しながら、早期発見、早期対応のために体制づくりを整えていきたい。

最後に、不登校については、年間 30 日以上欠席した児童生徒として調査を行っている。これは加西市においての課題であり、さまざまな対策をして取り組んでいる実情がある。なお、適応教室等に通っている生徒については、指導要録上出席扱いではあるが、この不登校の人数に入れている。

分析としては、やはり中学校の欠席率・不登校率が高く、特に中学校は 90 日以上の欠席が不登校の 6 割強を占めている現状がある。新規の不登校を増やさないという観点から、居心地のいい学校、学級づくりに努めていくこと。そして、教職員だけでなくスクールカウンセラーやスクールソーシャルワーカーを活用し、登校への障壁を取り除いて、受け入れ態勢を学校組織として整えることが大切であると考え。また、継続して不登校に陥っている児童生徒についても、学校復帰への支援を継続するとともに、居場所づくりを心がけ、学校での別室での指導あるいは適応教室、さらには地域福祉課のサードプレイスづくりの取組も見ながら、将来、中学校卒業後に引きこもってしまわないよう、適切に関係機関と連携しながら対応していくことが必要であると考える。

教育委員からの意見と総合教育センター所長の回答

- ・暴力行為といじめについて報告を聞いて思ったが、やはり小学校の件数が去年の報告の十何件から 20 件近く増えているのが気になる。中学校は逆にマイナスで減っている傾向になっているが、これはやはり先生の何かのご指導の仕方とかによっても変わってくるものなのか。

(回答) 小学校の件数が増えてきているのには、平成 27 年度以降、全国的に小学校の生徒間暴力件数が増加している傾向があり、全国的にも危惧されている。子どもを取り巻く環境等も含め、さらに発達に特性のある子どもの絡んだ暴力行為等もあつたりで、増えてきているものと思われるが、これからの経緯を見ながら分析する必要がある。中学校については、比較的近年落ちついた状況で、生徒たちが学習に取り組んでいる。指導については、小学校でも同じだが、やはり子どもの声を聞きながら、内面的理解に努めるような体制で行っているのが実情である。

- ・いじめの構成で仲間外れと集団による無視については、多分 2 年前では小学校が 2.7%、中学校が 4.0%だったと思うが、令和元年度で一気に小学校が 30%、中学校が 37.5%になっている。これはやはり今少子化等で、1 クラスのところたくさん起きているのか。それとも 2 クラス以上の大きいところで起きてるのかなどの違いはあるのか。

(回答) 学校の規模によって違うのかということは、詳細なデータをとっていない。増えている理由としては、仲間外れ等についても、丁寧に子どもたちにアンケートをとっていく結果、子どもたちが割合とささいな仲間外れ等も含めて報告をするようになってきたことがある。件数、パーセント的に数字だけを追いかけると、非常にびっくりするところもあるが、丁寧な指導の結果や複数回答ということもあり、幾つかの要素も絡みながら、これもあるかなという報告も含めた結果だと考えてい

る。

- ・パソコン等のいじめについて、昨年の報告はゼロだったが、今回の報告では、特に小学校が3.8%になっている。これはどのようなことで、ご指導はされているのか。
(回答) この件はゲーム内でのいじめである。昔であれば画面で動くゲームだったが、今までにはないいろいろなゲームがあり、中には声も入るようなものがあり、その中で相手に対する暴言があったりなど、そういうものをいじめと捉えてちょっと嫌な思いをしていると訴えたようなケースがあったと把握している。
- ・教育委員の意見：今、世間では誹謗中傷が非常に取りざたされている。一番大事な時期である小学生に対して、氷山の一角ということになるのかもしれないので、しっかり指導はしていったほうがよい。それは学校全体で考えていくべきだと思う。
- ・昨年も聞いたと思うが、いじめの形態での「その他」とは何か。
(回答) 上記のいじめの態様区分に当てはまらないこと。いじめの積極的認知の観点として、例えば友達からの善意のアドバイスや親切で勉強を教えてもらったことも、自分にとっては嫌だと感じる場合もいじめと捉えることになっている。そういう他の区分項目に当てはまらないようなことを「その他」としている。
- ・教育委員の意見：小学校でいじめや暴力行為がかなり増えている点について、昨年も質問した際、細かく見守ったり、調査が細やかになった結果、数字に反映してきたと伺った。今回も同じように細かく見守った結果と言われたが、数字については同じレベルではなく、さらに増えてきている。細かい調査をされていたら、どういう状態であったかを分析し、今後それを踏まえてさらに細やかな方針が立てられると思うので、これをうまく今後に活用していただきたい。
- ・教育委員の意見：不登校については、本当に若干だが減ってきていることに安堵している。そして、7ページの加西市の不登校児童生徒の出欠数の表には、「不登校のうちの平成30年度の調査でも不登校で計上されていた人」という1行を新たに書いてくださっている。そこで、この人が長く継続して不登校なのだとはよく把握できる。ここを書いていただいたことに、感謝したい。
- ・教育委員の意見：昨年度の統計はこれでよくわかった。本当に細かくというか、けがの有無にかかわらず、ささいなことにも先生方が目を配られていること。また、本人からの届け出とか相談体制の構築に力を入れられていることは、非常によいことだと思う。継続をお願いしたい。気になっているのは、令和2年度の分である。

コロナの影響で、7月ごろに学校訪問した際には、まだ子どもたちがなかなか落ちついていない様子があった。半年ぐらい経過し、10月にオープンスクールに参加させていただいたときには、子どもたちも落ちついてきたなという実感を受けたが、統計を出したときどんな数字が出てくるのか。コロナの影響はどうであったのか気になるところなので、そのあたりも教えていただきたいと思う。

- ・小学校や中学校では、児童生徒は携帯を学校に持ってきていないのか。

(回答) 小学校では、安全面の理由で、学校によっては、少し遠い距離を通う児童と保護者との適切な情報交換のもととして携帯を許可している児童もいると聞いている。保護者と学校との相談の上、安全のために学校が許可をしている。それ以外は申し出もないので、今のところ学校への携帯の持ち込みはしていない。中学校も同様。

- ・安全面という理由なら、授業中に携帯は先生が預かっているのか。

(回答) そうである。そういった機器の管理の方法などは、破損しても具合が悪いので、学校で預かってというようにしている。

- ・教育委員の意見：携帯の持ち込みについて学校の指導はずっと続けていったほうがよい。緩めると、携帯を持ってきて遊んだり、誹謗中傷が多くなったりと思うので、よろしく願いたい。

1 1 協議事項

なし

1 2 教育委員の提案

- ・提案ではないが、先ほど教育長から、今はさまざまな予算の時期ということで、いろいろなことを考えながら、よりよい子どもたちの教育というか、子どもたちのためにどんな選択が必要かということ、我々にどんな研修が必要かということも考えながら、とにかく市の財政当局にも話をしていくとおっしゃっていただいた。教育委員としてもそれを応援していきたいと考えている。よろしく願いたい。

1 3 今後の予定について

- ・第12回定例教育委員会 12月17日(木) 14:00～1F多目的ホール
- ・第13回定例教育委員会 1月21日(木) 14:00～5F大会議室

1 4 その他

教育委員からの質問および回答

- ・私の担当の泉小学校のことであるが、知人から電話があり「北門の横断歩道が全く消えてしまっている。あそこは直線コースなので、すごくスピードも出て危ないから、線を早く引いてほしい」と言われた。校長先生にお聞きしたところ、市と警察に電話をして調べてくださった。年内に工事の予定が入っているとわかり安堵した。ぜひ安全面のこともあるので、ほかの加西全域の小中学校も調べていただいて、横断歩道が消えているようなら、進めていただきたいと思う。調べていただけるか。
(次長兼教育総務課長の回答) 他の小中学校周辺で調査をさせていただく。
- ・来月にでも調査の回答をいただけるか。
(次長兼教育総務課長の回答) はい。
- ・同じようなことばかり申し上げるが、給食の公会計化について、何か少し進展したことがあれば、教えていただきたい。
(次長兼教育総務課長の回答) これから人事に関して、当局の人事ヒアリングが入って来る予定なので、強力に何とか人をつけていただけるようお願いしていきたい。
- ・いつごろあるのか。
(次長兼教育総務課長回答) 例年では、年末から書類関係の用意を始め、年明けた最初ぐらいになると思う。
(教育長からの回答) その件に関しては、先ほどもご報告で申し上げたように、教育委員会に給食専任の担当が今いない状況である。これは本当にゆゆしきことだと私は思っている。もちろん教育総務課が一生懸命やっているが、3000人の給食を預かる専任の担当が誰もいないというのは、大変な問題であると就任当初から私は認識している。来年度の予算に関しても、もちろんなかなか厳しい面があると聞いているが、公会計化も含め市としてきちんとした方針を出さなければいけないと私は思っているので、人員補充も含め、そのようお願いする形で今案をまとめており、頑張りたいと思っている。
- ・もう、よくわかっていらっしゃることだが、コロナが本当に厳しい状態というか、気温が下がってきて、本当に急激に増えてきている。昨日の代表区長会で市長が「今のところはこのあたりは」と言われていたが、いつそれが変わるかもわからない。保護者からの情報や部局との情報交換など、本当に気をつけていただきたい。未然防止のマスクや手洗いは本当に重要だと思うので、改めて、またよろしく願いしたい。

(教育長の回答) 本日も急きょコロナ対策会議が開かれることに決まった。加西市としても、教育委員会としても、万全の態勢で臨みたいと思っている。ご協力よろしくをお願いしたい。

本日、定例教育委員会終了後、鶉野飛行場跡施設の教育委員視察を行う。

この会議録は、事務局員が作成したものであるが、真正であることを認め、ここに署名する。

令和2年11月20日

出席者

(出席者署名)